

case

薬学

保健福祉部
薬務課

(平成29年度採用)

私は

福島の温泉

が好き!

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#製造業

現所属で初めて医薬品等の製造業関係業務の担当になりました。戸惑いもありましたが、先輩職員に指導、協力いただき業務を行っています。

keyword 02

#スキー

冬は友人と県内各地のスキー場へ足を運び、スキーやスノーボードをしてリフレッシュしています。滑った後の温泉も楽しみの一つです。

keyword 03

keyword 04

#旅行

#車

keyword 05

#映画

略歴

H29～R元	衛生研究所 理化学課
R2～R3	相双保健福祉事務所 医療薬事課
R4～現在	保健福祉部 薬務課

県民の健康と薬の安心を守るスペシャリスト

医薬品や化粧品等の製造に関わる許認可業務や、医薬品の製造所が法令で定める製造管理・品質管理基準（GMP省令）に適合しているかを調査するGMP適合性調査を担当しています。製造所で作られた製品は日本全国で使用され、県民のみならず国民の安心・安全に関わるため、大きな責任を感じるとともに、やりがいのある仕事です。

県職員を目指した理由

大学での就職説明会で行政薬剤師という選択肢があることを知り、大学OBの県職員の先輩の話聞いて自分も県職員という形で福島県の医療に貢献したいという気持ちから志望しました。



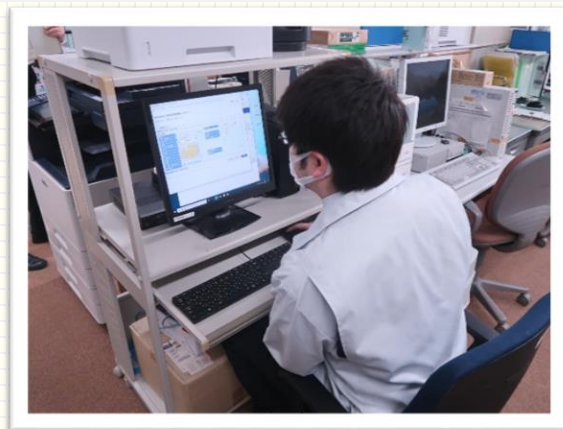
↑ 公的試験検査機関の調査

とある一日のスケジュール

8:30	メール確認 問い合わせ対応	13:00	GMP適合性調査の 事前資料確認
9:30	製造業許可更新の 書類確認、事務手続	15:30	次回GMP調査の 打ち合わせ
10:30	GMP適合性調査の 結果報告書作成	16:30	打ち合わせ記録作成
12:00	昼休み	17:15	終業

印象に残っている経験・エピソード

医薬品製造所のGMP適合性調査が終了した際に、製造所の職員の方から「自分たちではなかなか気が付くことの出来ない意見をいただき、参考になった。」という言葉がいただきました。微力でも医薬品製造での品質改善に役に立つことができたということで、自分も少し成長できたと感じました。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



↑GMP適合性調査におけるプラント調査

医薬品の製造は国内で完結するものではなく、原料を海外から購入する、日本で作られた薬が海外に輸出されることも多くなっています。そのため、製造所の調査は世界標準に則ったレベルの高いものが求められており、さらなる調査員としてのレベルアップが出来るよう、自己研鑽を続けていきたいと考えています。